

令和3年3月26日

東京都福生市長
加藤 育男 殿

福生市環境マネジメントシステム監査チーム

代表監査委員 石毛 和夫

副代表監査委員 田中 俊嗣

荻島 正義

小澤 はる奈

環境監査報告書

福生市環境マネジメントシステム（F-e）の令和2年度監査結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 日時

令和2年12月17日（木）～令和3年3月11日（木）

2. 監査対象

本庁舎	4	実行部門
市民利用施設	3	実行部門
供給処理施設	2	実行部門
教育施設	5	実行部門
指定管理施設	4	実行部門

計 18 実行部門および推進委員会

3. 監査結果集計

視点	番号	項目	監査の視点	高評価	改善要望
	0	前回監査のフォロー	前回監査における「改善要望」にどう対応したか。	該当なし	
M	1	数値目標の管理	環境負荷データに対する適切な分析が行われているか。		
	2	数値目標の管理	数値目標に対する実績と業務状況を踏まえ、達成に向けた取組が実施されているか。		
M	3	業務と環境負荷の認識	通常業務と環境負荷の関連を認識しているか。業務・処理の特性に応じた工夫等があるか。		
M	4	再生紙使用量の削減	職場の状況を踏まえた再生紙使用抑制策が検討・実施されているか。	1	
M	5	職場研修	環境に関する職場内研修が適切に実施されているか。		
G	6	協働事業の実施	環境に関する計画策定、事業、イベントにおいて市民との協働が図られているか。		
G	7	環境学習／利用者等の行動促進	【学校】児童・生徒を対象にした環境学習や保護者・地域との連携による活動があるか。 【学校以外】利用者や出入り事業者等の環境配慮行動を促す工夫があるか。	2	
—	8	取組の自己評価	職場内の環境配慮活動についてどのように評価・認識しているか。		
—	9	独自の取組や提案	職場の特性を活かした独自工夫が見られるか。		
M	推1	所管部署・施設における取組方針	第3次福生市地球温暖化対策実行計画の目標達成に向け、所管する施策分野でどのような取組・課題があったか。		
M	推2	環境協働の促進に向けた方針	環境配慮行動の市民への波及に向け、所管する施策分野でどのような取組・課題があったか。		
M	推3	今後の取組方針	令和3年度以降の取組に向けた方針。		
M	市長	市の環境政策に対する考え	現行計画への評価、次期計画への展望。		
M	副市長				
M	教育長				
M	事				
		合計		3	0

※監査の視点について・・・ A＝エコアクション（環境配慮）、M＝マネジメント（環境経営）、G＝ガバナンス（環境協働）

4. 総合所見

福生市環境マネジメントシステム（F－e）の令和2年度取組状況監査を実施しました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対面による聞き取りや現場目視は行わず、すべて書面による監査を実施しました。

その結果と所見は以下のとおりです。

（1）監査結果

設問ごとの評価で「特に高く評価したい点」として抽出された取組は3件、「改善をお願いしたい点」として指摘した事項はありませんでした。優良な取組の件数は例年より少なくなっていますが、その理由として、例年は現場監査の中で実行責任者や所属職員への聞き取りを通して優良な取組を抽出することに努めてきたのに対し、令和2年度は書面監査のため十分に情報を得ることができなかつたことが影響していると考えられます。

今回の監査では、再生紙（事務用コピー用紙）使用量の定常状態の認識や削減取組を重点事項の一つとしていました。市民会館では利用申請手続きの見直しなどにより再生紙使用量を半減できた点を高評価としました。本庁舎では部署ごとに再生紙の使用量を年度対比させ、実態把握がなされました。全庁的には窓口業務におけるタブレットの活用など電子化が進んだことにより、年間5万枚の削減が見込まれています。業務効率の改善と省資源が両立し、かつ市民にとっても手続きの負担軽減になっており、こうした動きが広がることを期待したいと思います。

各学校では、工夫して保護者や地域等と連携しながら様々な環境学習・活動が継続されていることが報告されました。学校からは、書面調査への回答を通して、各校の取組を支援する補助金や児童の活動を促進するポイントカードの導入などの要望が寄せられています。事務局及び推進委員会で検討し、地域の特色を生かした環境活動の充実化を図っていただきたいと思ひます。

エネルギー使用量や廃棄物発生量、環境に関する協働事業に対し感染症対策の影響が出ていることが予測されたため、書面調査ではこの点についても回答を求めました。多くの部署でコロナ対応のため環境負荷量が増えた、あるいは減ったとの結果について記述があったものの、今後の対応策について言及した回答は多くありませんでした。今年度は大きな状況変化がありましたが、当面の間は感染症対策をとりながらの市政運営・施設運用に迫られます。環境推進委員の中でもコロナ禍における課題と捉えている方もおられることから、現場が抱える課題について環境推進委員会で取り上げ、速やかな改善・対策に向けて協議できる体制を構築するようお願いいたします。特に学校からは冷暖房機・空調設備関連の老朽化の改善要望が切実に提起されており、これが進展することを希望します。また、業務量や施設利用者数・稼働時間と環境負荷データの関連を改めて詳細に検討し、来年度以降の対策に反映していただくことを望みます。これを機に導入されたウェブ会議システムやオンライン学習など新たなツールも充実化を図り、コミュニケーションや情報発信を強化する手段として、平常時から活用していただけると良いと思ひます。

（2）今後に向けて

○環境に関する研修や引き継ぎについて

感染拡大防止のため中止となった職員研修に代わり共通認識を図る機会として、アンケートによる職員個人調査で、従来の意識調査に加え、正誤テストと自由記入も実施しました。その結果、認知度・実践度の低い項目が明らかになり、F－e取組に対する率直な意見も寄せられました。多くの職員が自己のF－eに対する認識を確認する上で、一定の有効性がある手法だと考えられます。アンケートで正答率が低かった項目や、新たに認識してほしい事項を研修などにより周知し、研修・情報発信と対になる形でアンケートを活用することが望ましいと思ひます。

また一部の実行部門からは、毎年多数の職員の異動があるため引き継ぎに苦慮している状況が報告されています。初めてF－eの取組に触れる職員にとっては、地球温暖化

などの環境問題と自身の業務の結びつきを捉えるのは難しいと思います。「ルール通りに環境配慮行動を実践する、地球温暖化を防ぐ」ことがゴールではなく、日々の業務改善を通して省エネ・省資源や環境協働を実現すること、そしてF－eを通して日々の業務の内容や進め方を考える機会にすることを目指すのだということを、新入職員に対する研修では丁寧に伝えていただきたいと思います。引き継ぎの課題は、特に学校で大きな悩みとなっているようです。事務局と教育委員会で連携をとり、各校に過度の負担が生じないように研修等が行われるよう、検討してください。

○F－e監査の方法について

今回は初の書面監査となりましたが、コロナ禍の影響を受けつつも一歩踏み込んだアプローチがとられました。事務局監査については、年間スケジュールに沿ってポイントごとにPDCAの視点で振り返りをした資料と、F－e取組に関する庁内全体の傾向や特筆すべき事項とそれらに対する事務局の対応について「環境配慮」「環境経営」「環境協働」の3つの視点でまとめた追加資料が作成されました。次年度以降の取組の改善に直結する資料としても、活用を図っていただきたいと思います。また、事務局監査の位置づけや意義についても改めて確認し、実施時期や報告内容について検討していただきたいと思います。

書面のみでのコミュニケーションとなることから、各実行部門の取組に対して「環境配慮」「環境経営」「環境協働」の3つの視点から所見を作成するなど、監査チームとしてもフィードバックの内容を工夫しました。従来の監査方法に比べて資料の読み込みがより重要であったことから、事前の準備期間が必要であったと感じました。監査に使用する書類を事前に共有するなど、配慮していただくようお願いします。

職員監査委員としては、環境マネージャーである課長級職員が参加していますが、監査の重要性が強く認識されていることを感じます。監査を通して新たに確認された事項を環境マネージャー会議および環境推進委員会において改めて共有し、仕組みの改善に繋げていただくことを期待します。

5. 監査項目ごとの所見

監査担当班において「特に高く評価したい点」を整理した結果を、監査項目ごとに記述します。（特記事項の無い項目を除く）

設問番号	設問内容	監査の視点
4	再生紙使用量の削減	職場の状況を踏まえた再生紙使用抑制策が検討・実施されているか。

市民会館
（担当：2班） 施設利用申請書の必要書類見直しや関係資料のデータ化により、再生紙の使用量を半減させています。業務の見直しを実施し大きな削減効果が得られたことを評価します。

設問番号	設問内容	監査の視点
7	環境学習／利用者等の行動促進	【学校】児童・生徒を対象にした環境学習や保護者・地域との連携による活動があるか。 【学校以外】利用者や出入り事業者等の環境配慮行動を促す工夫があるか。

福生第一中学校
（担当：3班） 生徒会活動による環境活動（ペットボトル大会、愛の葉書運動、ベルマーク運動）をはじめとする独自の取組が継続されています。リサイクルチョーク（短くなったチョークの再生利用）活動は自立活動の取組として評価したいと思います。

福生第七小学校
（担当：3班） 全校児童による校庭芝生の管理や、保護者・地域・町会等とも連携した学校ビオトープにおける「ほたる復活プロジェクト」など、様々な環境配慮活動を実践しています。学校・児童が保護者や地域等との連携で継続して取り組み、成果を挙げていることを高く評価したいと思います。

6. 個別所見

各実行部門および推進委員に対する担当班からの個別所見です。

各実行部門に対しては、環境配慮・環境経営・環境協働の各視点から担当班が所見を作成しました。

班	監査部署	全体所見
	市長	<ul style="list-style-type: none"> 市長は環境に関するイベント等にもよく出席され、前向きな姿勢を感じております。 国によるカーボンニュートラル・脱炭素社会の宣言を意識し、ハード対策と施設運用改善の必要性を認識されています。2050年カーボンニュートラルのために、福生市としてどのような姿勢で削減目標を設定するのか、第4次地球温暖化対策実行計画の期間中から検討を重ねていただきたいと思っております。 環境基本計画第3期中期実施計画については、気候変動の緩和策・適応策と人材育成を重要な課題と捉えていらっしゃるようです。気候変動をテーマに「自ら動く」市民が増えるよう、普及啓発や講座などを積極的に打ち出していきたいと思っております。
	副市長	<ul style="list-style-type: none"> コロナ対策のため、各種会議の書面開催やリモート会議など新たな手法に取り組みられました。一時的な措置とせず、会議の効率化や外部との交流機会の拡充のため、より良い利用方法を検討し恒常的に活用していただけると良いと思っております。 窓口での申請書等の電子ペーパー化や、マイナポータルの活用など、積極的にデジタル化を推進されています。対面での丁寧な対応とあわせてメリハリのある手続き対応が定着し、その結果として省エネ・省資源がより進展することを期待します。
	教育長	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症に関する資料の収集に早くも着手され、この経験を後世に伝えようと動き始めていらっしゃいます。 GIGAスクール構想による学校でのタブレット活用、福生第五小学校の「持続可能な社会づくりに向けた教育推進校」の取組など、数多くの先進的な取組を期待感をもって見守りたいと思っております。
1	企画財政部長	<ul style="list-style-type: none"> 財政的な問題はあるとは思いますが、デジタル化は必須な取組ですので、注力して進めていただきたいです。
	総務部長	<ul style="list-style-type: none"> 環境・省エネに最大限配慮しつつ、市民の生活安全を守り抜く施策の展開を期待したいです。
	市民部長	<ul style="list-style-type: none"> ペーパーレス化に向けたシステム改修に費用がかかる点は理解できます。毎年着実に進めてください。
	生活環境部長	<ul style="list-style-type: none"> 環境施策の中心的な役割を担っていただき、自治会との関係が深いことから、市民と協働して施策の推進を図っていただきたいです。
	議会事務局長	<ul style="list-style-type: none"> 新人議員への啓発活動としてF-e監査への同席について発言されておりました。新人議員の方々に対して環境への思いをひとことでも発していただきたいと思っております。また、市議会だより等で取組について周知を図っていただきたいです。
2	福祉保健部長	<ul style="list-style-type: none"> 福祉センターの改修については、大きな省エネ効果が期待できます。まずは改修の効果確認と更なる効果的な取組をお願いします。

	福祉保健部参事	<ul style="list-style-type: none"> 保健センターは妊婦や乳幼児などの利用が多く、空調などの節約が難しい中、市民の協力を案内されています。 新型コロナウイルス対応で業務が増大していると思いますが、新しい生活様式に対応した環境配慮活動も検討ください。
	都市建設部長	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設工事担当部署として、高い環境意識をもち、職員以外に事業者に対しても環境配慮活動の向上に努められていることに感服しました。 市民参加の公園づくりなど協働取組の模範となるような成果を期待します。
	都市建設部参事	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路については今後の評価となるそうですが、取組の成果を期待します。 福生市の景観づくりも協働した取組の成果を期待します。
3	会計管理者	<ul style="list-style-type: none"> 業務改善による電子データの活用で、前向きに紙の削減を検討していただきたいと思います。
	子ども家庭部長	<ul style="list-style-type: none"> 環境推進委員として、環境配慮行動に取り組む姿勢は高く、取組むべき施策も具体的に提言されていますが、現状は空調の省エネルギー設備への切り替えが予算不足で実現できていません。この課題は庁内としてどう対応するか環境推進委員会で大いに議論して欲しいと思います。
	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> 所管する学校、施設の空調設備を高効率の設備に順次更新されていますが、効果の検証を行い、適切に進めていただきたいと思います。 生涯学習における次世代の地域リーダーの育成は、関連部署と連携し推進いただきたいと思います。 公用車は、国、東京都が示した「脱ガソリン車」の指針・目標を把握した上で、車両の変更を進めてはいかがでしょうか。
	教育部参事	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に基づく環境教育と合わせて、地域の特色を生かした学校独自の環境学習の取組を支援していることはとても良いと思います。今後については、デジタル教材の活用で環境教育も可視化されるなど学習方法の幅が広がります。コロナ禍のオンライン学習も広がると思います。ご検討いただきたいと思います。
1	環境課	<ul style="list-style-type: none"> 市民との協働活動がますます活発化されていて、環境人材の発掘がなされています。人材のネットワーク化に力を注いでいただきたいです。
	リサイクルセンター	<ul style="list-style-type: none"> 施設見学が可能とのことですが、見学を計画的に組み入れていけば協働活動の一つの柱になると思われます。ごみの減量、ごみ処理の学習センターとしての活動を期待します。
	福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> 大規模修繕により省エネ設備を導入しましたが、コロナの影響からか導入の効果が見えづらくなってしまっています。稼働時間帯で電気料金を割り返したら、改善効果が比較できるのではないのでしょうか。効果がわかるようなデータ取りの工夫をお願いしたいです。
	中央体育館	<ul style="list-style-type: none"> コロナの影響で人々が大勢集まるのが難しい中、業務の遂行が困難だと思われます。スポーツ活動を行う中、様々な工夫を検討していただきたいです。
	福生第三小学校	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティスクール等地域との連携が評価できる体制をとっています。この体制を活用して協働の活発化を進めてください。
	熊川児童館	<ul style="list-style-type: none"> 従来からの協働活動に加え、新しい企画を立ち上げるなど熱心に取り組まれています。今年度は新型コロナウイルスの影響

		響があって、企画通りの進捗は難しかったようですが、事業を継続して行っていただきたいです。
2	契約管財課	<ul style="list-style-type: none"> 集中管理している電気は、きめ細かな管理活動が行われていますが、コロナ感染防止対策の換気対応での使用量増加で苦労されています。 再生紙の削減については、関連する財政課、会計課、契約管財課が連携し、物品単価契約品購入契約書（請書）作成を不要とし、全課への事務負担低減と効率化が図られています。今年度の削減効果が期待できます。 職場として、電気、空調、水道、再生紙、ごみの持ち帰りなど、徹底した環境活動を推進していることがうかがえました。
	健康課	<ul style="list-style-type: none"> 数値目標が多く、職員数も多い中で、環境配慮活動が徹底されていることがうかがえました。
	福生第五小学校	<ul style="list-style-type: none"> 「持続可能な社会づくりに向けた教育推進校」としての活動を通し、児童の環境学習を推進し、保護者や地域との協働を積極的に行っていることがわかりました。
	福生第二中学校	<ul style="list-style-type: none"> 様々な難しさを抱えながらも環境活動を続けられています。特に、感染対策をしつつF-eのレベルアップをさせる工夫を考えていくと述べられています。難しい問題もあると思いますが、F-e事務局と連携しながら、学校におけるF-e取組の模範となる活動を期待します。
	市民会館	<ul style="list-style-type: none"> 13年ぶりの集会室などパッケージエアコン機器の更新で電気使用量が10%以上削減されたようです。難しい問題ですが老朽化した設備の更新を計画的に実施できるような仕組みができることを期待します。 環境活動と事業活動をリンクさせた取組みを評価し更なる成果を期待します。
	熊川地域体育館	<ul style="list-style-type: none"> ポスターによる啓発や声掛けなどを通して、利用者の協力を得ながら環境活動を積極的に進めている様子が見られます。効果を確認しながら更なる推進をお願いします。
3	防災食育センター	<ul style="list-style-type: none"> 数値目標の達成に向けて、給食の調理提供という業務の観点から削減努力をされています。今年度は、コロナの影響でセンター稼働年間日数が197回から178回に減少しました。数値目標に対してはこの事由で達成見込みです。 再生紙の使用削減について、書類の簡素化やITの活用に向けた取組を検討されています。 事前書面調査での職場の環境配慮活動では「△」評価となっていました。残滓の対応からやむを得ないことと推察します。
	子ども家庭支援課	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮に対していろいろ取り組まれており、子どもなどの利用者への対応に注意を払っておられます。 特に個人情報に記載されているような「取扱に注意を要する文書」については、処分方法や安全な電子化の方法などを検討していただきたいと思います。 今後の課題として、取り扱い文書の廃棄処理・取り扱いについて、全庁的な課題として検討しては如何でしょうか。この対応による業務処理コストと紙削減効果が期待されます。
	公民館	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が活動する際、密防止のため、利用者の状況、数の把握や、換気のほか、施設利用の定員の抑制などコロナ配慮の対応を一層お願いしたいと思います。その対応において、節電や紙の使用量などの環境配慮につなげてほしいと思います。

中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空調設備の老朽化のため、環境配慮行動に苦慮して対応していることがうかがえます。事前書面調査での職場の環境配慮活動では「△」評価となっていました。設備面からいたしかたない部分もあると推察します。 ・ コロナ感染対策としても空調設備と旧式トイレの改修を早急に行うことをお願いいたします。
福生第七小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍における早期の個別空調化やLED化、校内の水道漏れ点検は早急に対策を取っていただきたいと思います。 ・ 校庭のビオトープを活用した「ほたる復活プロジェクト」は、学校と保護者、地域、町会等と連携し実施しています。 ・ 今後もICTの活用や児童向けの環境ポイントカードによる環境啓発が予定されており、環境配慮活動の取組がより進むことを期待したいと思います。
福生第一中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校・生徒と保護者、市民とのつながりで、環境配慮活動が継続的に取り組まれています。生徒会の活動は大いに評価されます。 ・ 空調機の老朽化があり、改善の検討をされているようですが、できる限り早く取組に着手してほしいと思います。